

第2回横浜市都筑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会議事録	
日 時	平成27年5月15日（金）午後2時00分～午後4時35分
開催場所	都筑区役所2階研究室
出席者	北岡英子委員、荒井清志委員、杉田文江委員、長沼義雄委員、宮田洋子委員
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者0人）※ただし、議題3～4は非公開
議 題	1 会議の公開・非公開について 2 指定管理者の審査方法等について 3 面接審査 4 指定候補者の決定
決定事項	次の法人を指定候補者として選定し、都筑区長に報告する。 1 加賀原地域ケアプラザ （指定候補者）社会福祉法人 中川徳生会 2 葛が谷地域ケアプラザ （指定候補者）社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 3 新栄地域ケアプラザ （指定候補者）社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会 4 中川地域ケアプラザ （指定候補者）社会福祉法人 若竹大寿会
議 事	1 会議の公開・非公開について 第1回選定委員会で決定したとおり、プレゼンテーション及び審査については非公開とすることを確認。 2 指定管理者の審査方法等について ・応募団体のプレゼンテーションの流れ及び採点・集計方法について事務局より説明した。 ・応募団体の財務状況について、荒井委員より説明した。 3 面接審査について <プレゼンテーション 10分、質疑応答 15分> (1) 加賀原地域ケアプラザ 社会福祉法人 中川徳生会 【質疑応答】 (委 員) 包括支援センターの相談件数が昨年度大きく減っている理由は何か。 (法 人) これまでは個別の相談を多く受けていたが、昨年度から地域の団体への説明会や講座の回数を増やしたため減っていると考えている。 (委 員) 今後の相談対応について方向性はどうなるのか。

(法人) 個別の対応をしつつ、地域の支援を行っていく。ボランティアが活躍できるように後方支援していくことが必要だと思っている。

(委員) 地域とのかかわりをどう考えるか。

(法人) 地域の方が安心して生活するためには、顔の見える関係が重要。そのためには連合自治会町内会や地区社会福祉協議会の会議に出席するなどしてつながりを深め、建前ではなく本音で困りごとを相談してもらえるような関係づくりが必要だと考えている。

(2) 葛が谷地域ケアプラザ

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

【質疑応答】

(委員) これから特に力を入れていきたいことは何か。

(法人) 地域の支援を行っていきたい。地域での取組の検討について、企画の段階から一緒にやっていくことが大事だと考えている。

(委員) 具体的にはどういう取組を考えているか。

(法人) 例えば、認知症者の徘徊の早期発見のため、キーホルダーを使って誰でもすぐに家に帰せるようにする取り組みを検討している。周知については、様々な方法を活用したい。

(委員) ボランティア育成や認知症サポーターの養成などの具体的な予定があれば教えてほしい。

(法人) 認知症サポーターの人数を増やすだけでなく、具体的なテーマについて検討しながら関心をもって身近に感じてもらえるようアプローチしていく。

(3) 新栄地域ケアプラザ

社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

【質疑応答】

(委員) 高齢化の進んでいる集合住宅への取組を、他の地域へどのように展開していけると考えているか。

(法人) 他の地域では子どもの多い地域もある。出張相談や民生委員等との協力など個別に対応していく。

(委員) 民生委員や主任児童委員、また一般住民等地域住民との交流はどのように行っているか。

(法人) ある地域では活動の担い手と情報交換を行っている。また別の地域では、民生委員と相談してマンションの集会所で子育てサロンを開催している。この取組はさらに孤立気味の高齢者の支援につなげることも想定している。

(委員) 連合自治会町内会との関わり方について、どのような状況か教えてほしい。

(法人) 特にケアプラザから遠い地域の定例会には、毎月参加して情報交

換している。他にも防災訓練への参加や、夏祭りへの出店等行っている。

(委員) 自治会や町内会への未加入者が多い地域もあると思うが、その未加入者とのつながりはどのように確保しているのか。

(法人) マンションで広報紙の配布をしている。また、地区社会福祉協議会は自治会や町内会への加入未加入に関わらず取組を行っているため、協力して事業を行っている。

(委員) 子育て世代は自治会町内会への未加入世帯が多いと思うが、どのようなつながりを確保しているか。

(法人) 加入未加入関係なく活動を行っている子育てグループと連携し、広報紙を発行するなど情報発信している。

(4) 中川地域ケアプラザ
社会福祉法人 若竹大寿会

【質疑応答】

(委員) 呼び寄せ世帯同士をつなぐためにどのような工夫をしているか。

(法人) 基盤が無いと友人がいないなどつながりががないため、サロン事業を通じでつながりを作ってもらおう。また、その場でボランティアという役割で動いてもらうことで本人も生きがいにつながるのではないかと考えている。さらにサロンの場所に来られない方のために、ケアプラザ以外の場所でもサロンを開催するなどしている。

(委員) 慣れていない方はケアプラザを知らない場合もあるのではないか。

(法人) 多くの方は自分が困らないと来ない。そのため、町内会ごとの出前講座や広報紙を活用して情報発信している。また、ケアプラザをよく知っている方を増やし、その方を通じて知ってもらうというところを行っている。

(委員) 児童デイサービスを行っているとのことだが、その状況を教えてほしい。

(法人) 指定管理業務ではなく、法人としての業務。午前は未就学児を対象に、午後は小学生を対象に行っている。

(委員) 法人内での人材交流は可能か。

(法人) 様々な施設を運営しており、同種施設や同職種の職員が集まっている情報交換も行っている。

4 指定候補者の決定

<最低制限基準：60%以上>

(1) 加賀原地域ケアプラザ

社会福祉法人 中川徳生会

総得点 660点/1,000点

最低制限基準を上回っているため、指定候補者とする。

	<p>(2) 葛が谷地域ケアプラザ 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 総得点 690点／1,000点 最低制限基準を上回っているため、指定候補者とする。</p> <p>(3) 新栄地域ケアプラザ 社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会 総得点 732点／1,000点 最低制限基準を上回っているため、指定候補者とする。</p> <p>(4) 中川地域ケアプラザ 社会福祉法人 若竹大寿会 総得点 673点／975点 最低制限基準を上回っているため、指定候補者とする。</p>
特記事項	